

(お知らせ)

令和 8 年 6 月 1 日  
防 衛 省

## 国連三角パートナーシップ・プログラム（ケニア） 工兵要員に対する重機操作教育訓練の実施について

国連三角パートナーシップ・プログラム（UNTPP：United Nations Triangular Partnership Programme※）の一環として、令和 8 年 6 月 1 5 日から、ケニアにおいて実施される、国連 P K O ミッション等の工兵要員候補者を対象とした重機の操作訓練に、陸上自衛官 2 3 名を派遣することとなりましたので、お知らせします。本訓練は、P K O におけるインフラ整備、宿営地の造成等に必要な知識及び技能を修得させるものです。

平成 2 7 年以降、自衛隊は、アフリカ及びアジアにおいて、試行訓練を含めた計 2 0 回の重機操作教育訓練に延べ 4 1 3 名の陸上自衛官を派遣し、アフリカ、アジア及びオセアニア地域の工兵要員 5 1 7 名に対し訓練を実施しています。

※ 国連・支援国・要員派遣国の三者が、P K O に派遣される要員の訓練等を行う協力枠組み。平成 2 6 年の P K O サミットにおいて、安倍総理（当時）が、質の高い P K O 活動を実現するための積極的な支援を表明し、日本が旗振り役となり、平成 2 7 年に創設されたもの。

### 記

- 1 訓練期間： 令和 8 年 6 月 1 5 日～同年 7 月 2 4 日（基準）
- 2 派遣先： ケニア ナイロビ市内 人道平和支援学校（H P S S）
- 3 派遣要員： たけもり ひろ や 竹森 博哉 3 等陸佐 以下 2 3 名
- 4 事業内容： 国連 P K O ミッション等の工兵要員候補者に対する重機の操作・整備の教育